

一生自分の歯で食べられる社会を目指して・・・

お口の健康ネットワーク

NPO
Oral Health Network



NPO Oral Health Network Newsletter

会報

No.51
2024.3.25

■ 巻頭言

令和5年「つまようじ法実態調査」のご報告

友藤 孝明

■ 連載

予防歯科 **お悩み** 相談室

第3回 根面う蝕について

中垣晴男・森田 学・黒瀬 真由美

■ 認定医療機関紹介 No.15

伯田歯科医院 (奈良県北葛城郡)

■ 認定医療機関の登録更新について / 新規登録認定医療機関

活動報告 / 今後の行事日程

巻頭言



令和5年「つまようじ法実態調査」のご報告

友藤 孝明

朝日大学歯学部 教授
NPO法人お口の健康ネットワーク 理事

お口の健康ネットワークの会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。学術委員会委員長の友藤です。今回は、本会に所属している医療機関を対象に実施した令和5年「つまようじ法実態調査（つまようじ法ブラッシングの実態を把握することを目的としたアンケート調査）」の結果の一部をご紹介します。なお、調査期間は令和5年7月28日～8月31日で、有効回答数は65医院となります。

1. つまようじ法を導入している医療機関がある地域

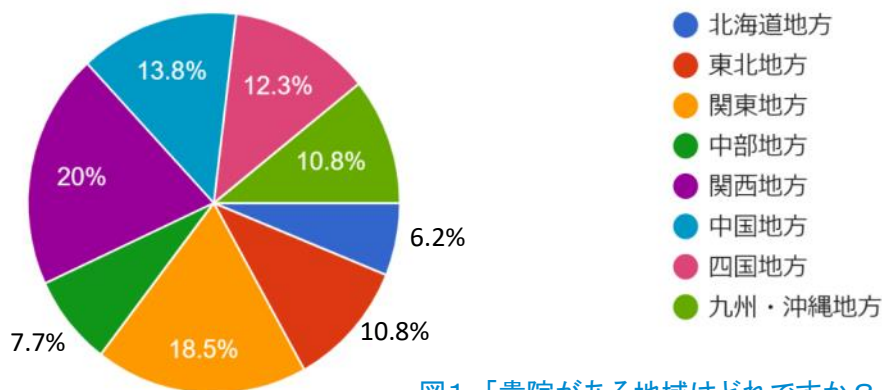


図1.「貴院がある地域はどれですか？」に対する回答

つまようじ法を導入している医療機関は、各地域に4医院以上あることが分かりました。特に医療機関数が多いのは関西地方と関東地方です。一方、人口規模から考えると、中部地方は医療機関数が比較的少ないことが伺えます。

2. 1日あたりの“つまようじ法による全顎的なブラッシング”の実施割合

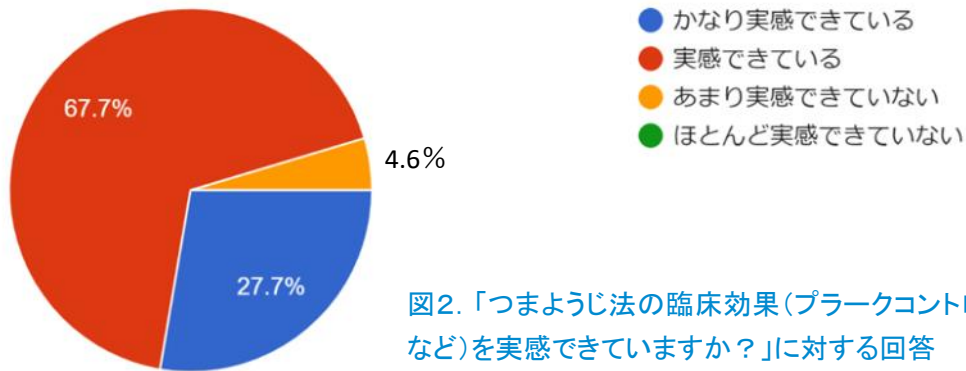
表1. 1日の患者数に対する“つまようじ法による全顎的なブラッシング”件数の割合

| つまようじ法の件数の割合 | 医療機関数 | 割合 (%) |
|--------------|-------|--------|
| 10%未満 | 14 | 21.5 |
| 10%以上20%未満 | 8 | 12.3 |
| 20%以上30%未満 | 7 | 10.8 |
| 30%以上40%未満 | 4 | 6.2 |
| 40%以上50%未満 | 7 | 10.8 |
| 50%以上60%未満 | 10 | 15.4 |
| 60%以上 | 13 | 20.0 |

1日の患者数に対する“つまようじ法による全顎的なブラッシング”件数の割合は、10%未満と

60%以上の層がそれぞれ全体の20%以上を占めました。医療機関によって、つまようじ法の導入状況に乖離があることが分かります。

3. つまようじ法の臨床効果の実感



つまようじ法の臨床効果について、95%以上の医療機関が「実感できている」もしくは「かなり実感できている」と回答しました。ほとんどの医療機関において「つまようじ法の臨床効果が認められている」といえます。

4. つまようじ法の導入の利点

表2. つまようじ法導入の利点(上位3位)

| 項目 | 医療機関数 | 割合 (%) |
|--------------|-------|--------|
| スタッフの意識が高まった | 40 | 61.5 |
| 患者が増加した | 14 | 21.5 |
| 医院収入が増加した | 8 | 12.3 |

つまようじ法の導入の利点を複数回答可で質問したところ、「スタッフの意識が高まった」と回答した医院の割合が最も多く、次いで「患者数が増加した」、「医院収入が増加した」の順に多い結果となりました。医療機関にとってのつまようじ法導入の利点は、スタッフ教育や医院経営への貢献にあると考えられます。

今回のアンケート結果は、「つまようじ法は全国的に広まっているが、医療機関単位でみると導入状況にばらつきがある」、「つまようじ法の臨床効果を実感している医院が多く、またつまようじ法の導入はスタッフの意識の向上に役立っている」という現状を示しています。一方で、「つまようじ法の導入によって、なぜスタッフの意識が高まるのだろうか」といった疑問も浮かびます。学術委員会としては、こういった疑問を学術的に解決していくことが、将来におけるつまようじ法のさらなる普及につながると考えています。今後ともよろしくお願ひいたします。

友藤 孝明 (ともふじ たかあき)

1997年 : 岡山大学歯学部卒業
 2001年3月: 岡山大学大学院歯学研究科修了
 2002年~2003年9月: 全北大学地域保健学講座(韓国) 博士研究員
 2003年10月~2008年7月: 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 助教
 2008年8月~2015年3月: 岡山大学病院 講師
 2015年4月~2017年3月: 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授
 2017年4月~: 朝日大学歯学部 教授
 現在に至る

予防歯科

お悩み相談室



中垣 晴男
愛知学院大学
名誉教授



森田 学
宝塚医療大学保健医
療学部 口腔保健学



黒瀬 真由美
PMJ歯科診療所

第3回



歯科衛生士さんからの質問

メンテナンス中の患者さんに根面う蝕が見つかることがあります。根面う蝕を予防する方法を教えてください。

前回の
内容から

- 前回は根面う蝕の予防に関して、
- ・エナメル質う蝕と象牙質う蝕の違い
 - ・高濃度フッ化物・サホライドの予防効果
 - ・食生活指導・プラークコントロール
 - ・フレイルとの関連性

などについて、森田先生と磯崎先生にお聞きしました。

今回は、愛知学院大学名誉教授の中垣先生に、根面う蝕に関していろいろとお聞きしました。



高齢者の保有本数が増えていますが、それに伴って根面う蝕も増えますか？

「8020運動」に関する調査によると、8020達成者は、歯の治療を早めにしてきた、かかりつけの歯科医院があった、砂糖を含む甘い物を食べないようにしていた、などの生活習慣の人が多かったです。デンマークの調査でも、20歯以上保有者は根面う蝕が少ない（保有歯数10歯まで増加、19歯まで横ばい、20歯以上は減少）という興味ある結果が報告されています。



8020を実現できるようにすることが根面う蝕の予防にもつながりそうですね。根面う蝕になっている人はどのくらいの割合ですか？

年齢とともに増加していきます。根面う蝕の有病率は報告が少ないです。少し前のデータですが、

| | | | |
|------|--------|--------|---------------|
| アメリカ | 50-54歳 | 42.12% | |
| | 60-64歳 | 54.42% | |
| | 70-74歳 | 64.59% | |
| | 80歳以上 | 62.88% | (Millerら1987) |
| 日本 | 40-49歳 | 23.9% | |
| | 50-59歳 | 43.7% | (杉原ら1992) |

という報告があります。8020調査から明らかになった「かかりつけ歯科医があったこと」などをはじめ、人々が規則正しい生活習慣を維持することができるよう専門家はサポートしていく責任があります。



近年は成人や高齢者においてもフッ化物歯面塗布、フッ化物洗口やフッ化物配合歯磨剤を勧められています。根面にはどのようにフッ化物が効きますか？

根面う蝕は歯頸部が露出した歯の表面で生じます。露出セメント質は上皮付着上にあり、口腔内環境の影響を受けます。露出したセメント質表層のフッ化物イオン濃度を調べると、高濃度値(3,000ppmを越す値)を示すことがあります。



歯肉退縮等によりセメント質表層が露出

→バイオフィーム(獲得被膜、歯垢)や唾液からのフッ化物イオンの取り込み

→再石灰化作用もしくは過石灰化層形成

⇒フッ化物イオン濃度が高まったであろうと考えられます。

このようなフッ化物イオン濃度の分布、濃度の高まりや変化から、成人や高齢者における根面う蝕の予防にフッ化物応用が有用であることがわかります。



セメント質が露出するとどのような変化が起きますか？

露出したセメント質の表層20-30 μ mはエナメル質など同様に再石灰化が生じることがあり、その結果もあって、表層に石灰化の良い層があることがわかっています。最近はこのフッ化物の再石灰化による“治療的”な役割が重視されるようになっていきます。



根面う蝕の進行性は臨床的にはどのようなことからわかりますか？

根面う蝕には進行性のものと非進行性のものがあります。褐色(薄い色)を示すのは進行性、黒色を示すのは非進行性か再石灰化が生じているう蝕です。黒色を示す根面う蝕は再石灰化をしている段階なので、定期的にチェックしていくのが良いです。



●初期の根面う蝕に罹患している患者に対するフッ化物歯面塗布処置の保険適用について

《F局》フッ化物歯面塗布処置 110点 (令和6年6月以降、算定方法が変更になります)

初期の根面う蝕に罹患している患者

- ・在宅等で療養を行っている通院困難な患者
- ・65歳以上の患者

に対してフッ化物歯面塗布処置を行った場合に算定する

・初期の根面う蝕に罹患している65歳以上の患者に対して、主治医の歯科医師又はその指示を受けた歯科衛生士が、フッ化物歯面塗布処置を行った場合に、月1回に限り算定する。ただし、2回目以降のフッ化物歯面塗布処置の算定は、前回実施月の翌月の初日から起算して2月を経過した日以降に行った場合に限り、月1回算定する。

・フッ化物局所応用による指導管理に用いる局所応用フッ化物製剤とは、2%フッ化ナトリウム溶液、酸性フッ化リン酸溶液をいう。

・フッ化物歯面塗布とは、綿球による歯面塗布法、トレー及びイオン導入法等の通法に従い、主治の歯科医師又は歯科衛生士が行う局所応用をいう。



最後に、前回からの話も含めてまとめます。↓



根面う蝕の予防は、基本的にはエナメル質う蝕の予防と同じです。フッ化物の利用(1450ppmフッ化物配合歯磨剤の使用、フッ化物洗口、定期的なフッ化物歯面塗布)、発酵性基質(ショ糖、果糖)の摂取制限、および歯根表面のプラークコントロールです。ただし、根面はエナメル質と比べると酸に溶けやすく、進行は速やかです。歯肉が退縮した場所では、初期の発症を見逃さないように定期的に触診で確認しましょう。リスクの高そうな患者さんに対しては、フッ化ジアンミン銀を積極的に使うのがお勧めです。「歯・口の健康をいつまでも維持しましょうね」と患者さんに常日頃から働きかけることも、めぐりめぐって、根面う蝕の予防につながります。

伯田歯科医院

所在地: 奈良県北葛城郡王寺町久度1-9-7

TEL 0745-72-2019

●スタッフ数: Dr. 2名、DH 4名、DA 5名

●チェア台数: 6台

◆つまようじ法との出会い

当院は奈良県の北西部にあり有名な法隆寺の隣の町にあります。

私の『つまようじ法ブラッシング』との出会いは2010年和田精密歯研からの講習会のお誘いでした。その時期当院では染色してブラッシング指導という昔からの概念で行なっていましたが全然効果が上がらず、どうしたら良いのか模索していました。黒瀬真由美先生の『つまようじ法ブラッシング』を受講して衝撃を受けました。それはまず術者磨きをしてあげるということ。全ての来院患者さんを対象にするということ、1人の患者さんに50分～1時間、時間をかけるという事です。お話を聞きながら当院で出来るかなあという事を考えました。でも実習で術者磨きを体験して、これは良いと思い、次の日から患者さんに術者磨きをすぐに取り入れました。最初のうちは私達も不慣れで思うように出来ませんでした。歯ブラシを入れる事によって出血の部位が顕著にわかり、炎症部位や歯牙の状態を把握出来るようになり食片圧入なども患者さんに共感し、アドバイスが出来るようになって行きました。又、患者さんからも『こんな初めてですごく気持ちが良い』と言う意見や『このハブラシ使い出して出血が減ったわー』という意見など肯定的な意見が多く喜んでくれた事もこの方針でいこうと思ったことの一つです。患者さん1人の予約時間を1時間にする事に最初抵抗がありましたが、ゆっくりと患者さんに沿った予防が出来るのでこれで良かったと思います。

◆患者さんと真摯に向き合って

最近では歯周病菌が全身疾患の原因となるという発表があったり、コロナやインフルエンザなど感染症が猛威をふるったりして来たので口腔内の清掃に注

目が集まるようになって来ました。それに対応できるつまようじ法のブラッシングは最強だなあとつくづく思います。朝起きてすぐのブラッシングとつまようじ法ブラッシングの歯肉マッサージはとても大事だと痛感しています。つまようじ法の一番の目的は宿主強化（歯肉の強化）です。そして出血を止める（潰瘍を治す）ことです。そして最後は一生自分の歯で食べてもらうということを目標に来院して頂く患者さんに真摯に向き合い接してまだまだ診療を続けて行きたいと思っています。つまようじ法ブラッシングに出会えて良かったです。また、訪問実習をしていただく事はスタッフにも好評で、みんな一丸となって目標に向かう意欲が出るので、とても有意義だと思います。



▲スタッフの皆さん。認定歯科衛生士が2名在籍。

2023年12月の訪問実習時の様子。▶



【院長先生プロフィール】

伯田 哲郎

(はかた てつお)

1982年 大阪歯科大学歯学部 卒業
1996年 伯田歯科医院 継承
2004年 大阪歯科大学口腔治療学講座にて歯学博士の学位を取得し、現在に至る

認定医療機関の登録更新について

認定委員長 小林崇之

認定医療機関の登録更新について、2023年は11医療機関にて第1回の更新手続きを行っていただきました。引き続き認定医療機関としてご活躍いただければ幸いです。

また、2024年12月末には15医療機関にて更新期限を迎えます。1回目の更新につきましては、更新期限までに1回以上訪問実習を受講することが要件となっております。1回目の登録日以降に、すでに訪問実習を受講されている場合は更新要件を満たしております。未受講の場合は、2024年中に訪問実習を受講いただきますようお願い申し上げます。

登録日、更新期限は認定証に記載しておりますが、訪問実習の受講履歴なども含めてご不明な点等ございましたら事務局までお問い合わせください。

尚、2回目以降の更新についてはセミナー又は研修会への参加要件も加わりますのでご注意ください。下記に更新手順を掲載しますのでご確認ください（ホームページにも掲載しております）。

認定医療機関の更新の手順

1. 1回目の更新

更新期限までに、訪問実習を受講すること

2. 2回目以降の更新

(1) 5年間で以下のセミナー又は研修会に3回以上参加すること

- | | |
|-------------------------------------|---------------|
| ① 基礎セミナー 東京・大阪 各年1回 | } 5年間で20回開催予定 |
| ② 応用セミナー 東京・大阪 各年1回 | |
| ③ 研修会 年2回（春・秋）：5年間で10回開催予定 | |
| ④ ①、②以外のつまようじ法に特化したセミナーで認定委員会が認めたもの | |

※1 WEB開催時の参加も回数に含めるが、最低1回は現地参加が必要

※2 上記の①又は②の口演者になれば2回分参加とする

※3 地域歯科保健活動につまようじ法の実践で参加した場合、又は市民講座・歯科医師会 講演などで、つまようじ法に関する演者となった場合は1回参加とみなすので、証明できるものを提出すること

(2) 訪問実習を受講すること

新規登録 認定医療機関・認定歯科医師

以下の会員が認定医療機関（認定歯科医師）に登録されました。今後のますますのご活躍を期待しております。

| 医療機関名／歯科医師名 | 所在地 | 管理者名 | 登録日 |
|-----------------|-----|--------|------------|
| 医療法人徳旺会 長谷川歯科医院 | 大阪市 | 長谷川 昌徳 | 2024. 1. 1 |
| 白須 万紀子 | 京都市 | | 2024. 1. 1 |
| さんべ歯科クリニック | 岡山市 | 三部 俊博 | 2024. 3. 1 |

活動報告

「つまようじ法」臨床セミナー

●応用編（大阪会場）

日時：2023年11月19日（日）

場所：CIVI研修センター新大阪東

参加者数：26名

◇講師：森田学、伊佐津和朗、丸岡三紗、長浦寛子



今後の行事日程

| 2024年 月 日 | 内容 | 開催地 | 講師等(予定) | 時間(予定) |
|-----------|--------------------------------|-----|-----------------------|-------------|
| 4/20(土) | 第31回理事会 | 東京 | — | 15:30～18:00 |
| 4/21(日) | 第9回お口の健康フェスティバル | | 山本 龍生 他 | 10:00～15:30 |
| 6/2(日) | つまようじ法臨床セミナー基礎編 | 大阪 | 磯崎 篤則 黒瀬 真由美 | 10:00～16:00 |
| 6/16(日) | つまようじ法臨床セミナー基礎編 | 東京 | 小畑 文也 | 10:00～16:00 |
| 9/8(日) | つまようじ法臨床セミナー応用編 | 大阪 | 森田 学 藤井 和夫 土本 愛 | 10:00～16:00 |
| 10/5(土) | 第32回理事会 | 岐阜 | — | 15:00～18:00 |
| 10/6(日) | 第16回通常総会／研修会 第10回認定医療機関教育講演 | | 江國 大輔 友藤 孝明 | 9:30～15:30 |
| 11月にて調整中 | つまようじ法臨床セミナー応用編 | 東京 | 森田 学 藤井 和夫 土本 愛 | 10:00～16:00 |

ホームページへの歯科医院掲載について

ホームページの「全国歯科医院検索ページ(一般の方向けページ)」への掲載は任意となっております。会員専用ページの「ホームページ掲載登録」ページからお申込みいただくか、専用のFAX用紙にて申込していただいた会員歯科医院について掲載いたします。ご不明な点等ございましたら事務局までお問合せください。



(編集後記) セミナー委員会では例年通りセミナーの企画をさせていただいていますが、今年は東京・大阪会場共、実習時にはユニットを使用できる会場を予定しています。会員の皆様でも左のマンガのような体験実習でつまようじ法に出会われた方も多いのではないでしょうか。より充実した実習ができるよう準備いたしますので、今年も多くの方にご参加いただければと思います。(事務局/草野栄路)

NPO法人 お口の健康ネットワーク会報 No.51

2024年3月25日発行

発行：特定非営利活動法人お口の健康ネットワーク

【事務局】〒700-0953 岡山市南区西市541-1

TEL.086-250-2531 FAX.086-250-2532

E-mail: jimukyoku@oral-health-network.jp

https://www.oral-health-network.jp 会員専用ページ: https://ohn-member.net

FB: https://www.facebook.com/npo.oralhealthnetwork

